

令和4年度
教科名等

芸術(美術) 科

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定
α 美術Ⅱ	美術Ⅱ	2	A ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	2	必修選択	70

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	実技
教科書	美術Ⅱ 光村図書
使用教材等	ワークシート、画用紙、鉛筆、練り消しゴム、アクリル絵の具、彫刻刀、電動糸鋸盤、紙やすり、粘土ヘラ、のし棒

科目の目標・内容等

学習目標	多様な表現の良さや美しさなどを味わい、制作工程を考え表現を工夫する力を育てる。
学習における留意点	観察力、発想力、想像力、技術力、表現力の工場を目指す。作品と向き合う時の集中力や創作意欲を持続させることも大切である。
予習・復習	創作に必要な資料を用意する。日常生活の中でアイデアのヒントをえる。
評価方法	各課題の作品の完成度で評価する。教材・用具・資料の準備、出席率、授業態度も加味する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	●鉛筆デッサン 「メビウスの輪」 ●木彫「テープカッター」	●鉛筆デッサンの基礎を確認する。鉛筆の硬度の違いや、練り消しゴムの扱い方を学ぶ。モチーフであるメビウスをよく観察して、実物大でデッサンする。光の方向、陰影の表現方法などの技術力の向上と観察眼を養う。 ●木彫の基礎を確認し、テープカッターにふさわしいデザインを考える。電動糸鋸盤の扱い方を学び、丁寧に仕上げて着彩する。	制作に意欲的に取り組んでいよく観察し、細部までこだわりを持って表現している。 ワークシート。 表現のための技術の習熟度。 作品完成度。
2	「陶芸」 「版画」	カップを粘土で制作する。実用性を考えてデザインをする。発想や構想の能力を高める。完成のイメージを湧かせて、細部までこだわりを持たせる。お互いの作品を鑑賞し良さを味わう。 四季をテーマに絵葉書を制作。図案を考え凸版をつくる。陽刻法と陰刻法について理解する。	独自の構想を練り展開している。 制作に意欲的に取り組んでいワークシート。 表現のための技術の習熟度。 作品完成度。
	「絵画の再構成」	1学期の風景画の再構成。抽象化や再構	細部までこだわりを持って表現

3		<p>成の手法を用いて構想し表現につなげる。デカルコマニー、コラージュ、フロッタージュなどの技法を学ぶ。 画面全体の統一感を意識しながら、完成度を上げる。 お互いの作品を鑑賞し良さを味わう。</p>	<p>いる。 制作に意欲的に取り組んでい ワークシート。 作品完成度。</p>
---	--	---	---

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

時数
時間

る。
を持つ

る。
る。

見して

る。